

平成25年度予算見積調書

課室名 警察本部 会計課
担当名 予算係

内線 2235

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業				
B 1	大宮警察署等統合庁舎建設調査設計費			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	大宮警察署等庁舎設計費				
事業期間	平成25年度	根拠法令	警察法				戦略項目分野施策	010401 防犯対策の推進と捜査活動の強化				
1 事業の概要 老朽・狭あい化が著しく、耐震性が十分でない大宮警察署庁舎及び科学捜査研究所庁舎と本部鑑識課を移転(統合)し、庁舎を建設するための調査設計を行う。 (1) 庁舎建設調査設計費 202,788千円				5 事業説明 (1) 事業内容 庁舎建設調査設計費 202,788千円 大宮警察署庁舎、科学捜査研究所庁舎及び本部鑑識課を移転(統合)し、庁舎を建設するための調査設計を実施 【建設概要】 ・所在地 : さいたま市大宮区北袋町1丁目地内(三菱マテリアルの敷地の一部) ・敷地面積: 約11,000㎡(隣接道路拡幅予定分1,000㎡含む) ・庁舎規模: 鉄骨鉄筋コンクリート造 7階 約12,000㎡ 【建設コンセプト】 ・災害に強い庁舎: 代替災害対策本部スペース・給油施設・非常用発動発電機等の設置 最高度の耐震性(構造耐震指標0.9相当)を確保 ・長寿命化による低コスト庁舎: 目標耐用年数100年を想定した設計を検討 (2) 事業計画(案) 総事業費 8,969,983千円 ・平成24年度(9月補正) 用地取得 2,887,460千円 ・平成25年度 調査設計 202,788千円 ・平成26~28年度 庁舎建設 5,710,429千円 ・平成28年度 現大宮警察署庁舎解体 169,306千円 (3) 事業効果 県民サービスの向上と有事における県民の安全・安心が一層強化される。また、警察本部庁舎の災害代替機能の強化を図ることにより、さいたま新都心内における国等の機関との災害対策活動の連携強化が図られる。 (4) 統合施設の現況 ・大宮警察署庁舎: さいたま市大宮区、昭和50年9月建設(37年経過)、敷地面積7,017㎡ 耐震性能ランクⅡ(構造耐震指標0.37) ・科学捜査研究所庁舎: さいたま市浦和区、昭和42年12月建設(45年経過)、敷地面積6,492㎡ 耐震性能ランクⅡ(構造耐震指標0.58) ・本部鑑識課: 県庁第二庁舎8階、使用面積530㎡								
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)												
3 地方財政措置の状況 なし												
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員												
要求額・審査額		県債						一般財源		前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	202,788	194,000						8,788	202,788			うち一財
要前	202,788 0	194,000						8,788 0	202,788			

—警察本部・B1—

【審査の考え方】

施設の老朽・狭あい化、耐震性の改善及び鑑定業務の効率化の観点から、移転(統合)改築に向けての調査設計の必要性を認め、要求額を措置した。

平成25年度予算見積調書

課室名 警察本部 会計課
担当名 予算係

内線 2234

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業																																																																			
B 3 7 B 4 1	一般行政費（非常勤職員経費）			一般会計	警察費	警察管理費	警察本部費	一般行政費																																																																			
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	警察法				戦略項目 分野施策	010401 防犯対策の推進と捜査活動の強化																																																																			
1 事業の概要 本県警察職員の業務負担は、依然として過重なものとなっており、非常勤職員による警察業務の補完が必要不可欠である。そこで、既存の非常勤職員の配置等の見直しを行うとともに、非常勤職員19人を増員配置する。 (1) 既存分 2,348,273千円 ア 交番相談員等（24職種） 703人 2,300,989千円 イ 顧問弁護士等 491人 47,284千円 (2) 増員分 64,425千円 ウ DNA型鑑定支援員 2人 6,966千円 エ 交番相談員 5人 16,855千円 オ スクール・サポーター 12人 40,604千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 非常勤職員報酬等（24職種 703人：交番相談員、スクールサポーター等） 2,300,989千円 非常勤職員の定数見直し 運転免許技能試験事務員・生活相談専門員 △2人（705人→703人） イ 顧問弁護士、産業医、警察署協議会委員報酬等（4職種 491人） 47,284千円 ウ DNA型鑑定支援員増員経費 2人（皆増） 6,966千円 鑑定嘱託件数の増加に伴う、鑑定未処理件数の著しい増加に対処するため、科学捜査研究所に鑑定業務を補助する支援員を新たに増員配置する。 [担当業務] DNA型管理簿への入力、口腔内細胞等鑑定書の作成補助、鑑定書のデータチェック 等 エ 交番相談員増員経費 5人（現員391人） 16,855千円 不在交番を解消するため、原則、体制9人以下の交番に交番相談員を複数配置する。 [増員計画(案)] 体制9人以下の交番残り56箇所交番相談員2人目を配置し、447人体制とする。 平成25年度：5人 平成26～28年度：各17人 オ スクール・サポーター増員経費 12人（現員28人） 40,604千円 非行が深刻化している中学校の要請に応えるため、スクール・サポーターを緊急的に増員する。 (2) 事業効果 ア 非常勤職員の拡充による警察業務の補完により、県民の安全で平穏な生活を確保する。 イ 非行が深刻化している中学校の早期正常化を図り、いじめを含む非行・問題行動を発見・防止する。 [参考]過去の増減状況																																																																							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)																																																																											
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分) 警察費（細目）警察管理費 (細節) 警察職員費 (積算内容) 相談員等				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警察官</td> <td>174</td> <td>0</td> <td>63</td> <td>91</td> <td>79</td> <td>23</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員(増員分)</td> <td>70</td> <td>53</td> <td>40</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td> DNA型鑑定支援員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 交番相談員</td> <td>42</td> <td>50</td> <td>33</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> スクール・サポーター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>△8</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>28</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員(減員分)</td> <td>△14</td> <td>0</td> <td>△2</td> <td>△5</td> <td>△4</td> <td>△3</td> <td>△2</td> </tr> </tbody> </table>									H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	警察官	174	0	63	91	79	23	未定	非常勤職員(増員分)	70	53	40	12	13	18	19	DNA型鑑定支援員	0	0	0	0	0	0	2	交番相談員	42	50	33	16	10	15	5	スクール・サポーター	0	0	0	△8	3	1	12	その他	28	3	7	4	0	2	0	非常勤職員(減員分)	△14	0	△2	△5	△4	△3	△2
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25																																																																				
警察官	174	0	63	91	79	23	未定																																																																				
非常勤職員(増員分)	70	53	40	12	13	18	19																																																																				
DNA型鑑定支援員	0	0	0	0	0	0	2																																																																				
交番相談員	42	50	33	16	10	15	5																																																																				
スクール・サポーター	0	0	0	△8	3	1	12																																																																				
その他	28	3	7	4	0	2	0																																																																				
非常勤職員(減員分)	△14	0	△2	△5	△4	△3	△2																																																																				
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員																																																																											
要求額・審査額		諸収入						一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額																																																																
決	2,412,698	267,452					2,145,246	75,271	22 2,186,073 (1,954,347)	2,337,427																																																																	
要	2,412,698	267,452					2,145,246	75,271	23 2,261,780	うち一財																																																																	
前	2,337,427	257,648					2,079,779		(2,017,300)	2,079,779																																																																	

—警察本部・B37, B41—

【審査の考え方】

非常勤職員の増員及び既存の非常勤職員や顧問弁護士等にかかる経費の必要性を認め、要求額を措置した。